

事務事業名 各種事業・教室開催事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：714

施策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090701-03-600
基本事業：	02	年齢や体力に応じたスポーツの振興	担当部	教育部
基本事業の成果指標	スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（18歳以上65歳未満） スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（65歳以上） 学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合 親子でスポーツをしている市民の割合		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ振興担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和40年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			広報や市公式ホームページ、ポスターなどで参加者を募集し各行事を開催 [行事内容] いきいきニュースポーツ広場：スポーツ推進委員主催によるニュースポーツの紹介・体験と体力測定を開催。 スポーツレクリエーション講習会：レクリエーションの提供の仕方や、楽しさを学ぶ学習会を生涯学習センターで3回開催。 生涯スポーツセミナー：生涯にわたって、スポーツを楽しむための講習会を開催。 筑紫野市民水泳大会：小学生から大人まで水泳に親しむ大会。 スポレクフェスタ：農業者トレーニングセンターや筑紫運動広場で、各種スポーツの体験イベント、ペタンク大会を開催 筑紫野市駅伝大会：天拝湖周回コースをチーム単位で競う大会							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）							
さまざまな人々がふれあい、交流を深め、気軽に「する」「みる」「つどい」「つなぐ」ことが出来るようなスポーツ活動の場を提供する。										
成果指標名称			単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
各種事業、教室の参加者数			人	実績 63	実績 1,987	当初 7,000	要求 7,000	計画	計画	7,000
5. コスト										
事業費			計	千円	174	1,225	3,268	3,261		
			国	千円	0	0	0	0		
			県	千円	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0		
一般			千円	174	1,225	3,268	3,261			
正職員人工数			人工	0.4	0.4	0.4				
正職員人件費			千円	3,168	3,091	3,126				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)			千円	3,342	4,316	6,394	3,261			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）			コロナ感染症の感染対策を講じながら、計画どおり事業を実施することができた。生涯スポーツセミナーでは、コロナ感染防止対策として、会場と併せWEB（オンライン）を活用して実施し参加者の増加に務めた。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄							
既存のスポーツは、スポーツ本来の楽しさを感じる技術に達するまで時間を要し、体力も必要となる種目が多い。こうしたことから、世代を問わずだれもが気軽に楽しめるスポーツの普及を地域に広める必要がある。			令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための各種事業・教室開催事業の中止等により、利用者数が減少した。							